

① 他者設備を用いた地域電気通信業務の実施状況

ア 報告年度末時点の提供区域、業務開始時期、施行規則第2条の2第1項第1号から第3号までの別、加入者数(※町又は字の単位)

2025年度末時点の提供区域、業務開始時期、施行規則第2条の2第1項第1号から第3号までの別、加入者数は別紙の通りです。

イ 加入者への提供料金・提供条件

2025年度末時点におけるワイヤレス固定電話の提供料金は下記の通りです。提供条件については、特定地域向け音声IP利用サービス契約約款に定める通りです。なお、特定地域向け音声IP利用サービス契約約款は、当社公式ホームページにて公開しております。

提供料金	基本料金(月額)	住宅用	3級取扱所	1,700円 (税込1,870円)
			2級・1級取扱所	1,600円 (税込1,760円)
		事務用	3級取扱所	2,500円 (税込2,750円)
			2級・1級取扱所	2,400円 (税込2,640円)
	通話料金 (国内の固定電話にかけた場合)	全国一律3分8円(税込 3分8.8円)		
	初期費用	契約料:800円(税込 880円) 工事費※:20,000円(税込 22,000円)		
提供条件	特定地域向け音声IP利用サービス契約約款に定める通り			

※ 内訳は基本工事費7,500円(税込 8,250円)、交換機等工事費 1,000円(税込 1,100円)、回線終端装置工事費 11,500円(税込 12,650円) 標準的な工事の例であり、工事内容により初期費用は異なります。

ウ 加入者の保護に係る取組状況

(苦情相談件数及び主な内容、電波環境調査等の実施状況、その他加入者の保護のために講じた措置の内容)

【苦情相談件数】

- 2025年度に当社が受け付けたワイヤレス固定電話に関する苦情はありませんでした。

【電波環境調査の実施状況】

- 電波環境調査については、開通前～開通後の各フローにおいて、以下の通り確認を実施しております。

		確認実施者	具体的な対応等
開通前		注文受付部門 担当者	モバイル事業者のWEBサイトで電波状況を確認すると共に、携帯電話をお持ちの場合は携帯電話の電波状況のヒアリングも実施
開通時	お客様宅にお伺い して実施する工事の場合	開通工事実施部門 担当者	TAを設置した後に、担当者にて電波強度の確認を実施
	お客様宅にお伺い しない工事の場合	故障対応部門 担当者	無派遣工事の場合、TA設置等はカスタマセルフで実施 開通がうまくいかない場合に限り、当社の故障対応部門担当者がお客様宅にお伺いし、電波強度を確認の上、TAの交換や装置の設置等を実施
開通後 (故障申告受付時)		故障対応部門 担当者	必要に応じ、当社の故障修理担当者がお客様宅にお伺いし、電波強度を確認の上、TAの交換や装置の設置等を実施

- 2025年度にワイヤレス固定電話のお申込みを頂いた■件の中で、開通前及び開通時の電波環境調査において電波不良を確認し、ワイヤレス固定電話の開通に至らなかった案件が■件、開通時に電波強化装置を設置した案件が■件ございました。なお、開通後にお客様から電波不良の申告を受けて電波強化装置を設置した案件は■件でした。

【緊急通報サービスの確認対応】

- 自治体等が提供する緊急通報サービス(加入者がボタンを押下することで専用コールセンタや緊急通報機関に接続するサービス)については、当該サービスを提供する自治体と連携する企業や端末の製造メーカー等が、ワイヤレス固定電話で当該サービスを利用できることを確認可能な検証環境を2023年12月に提供開始するとともに、当社公式ホームページにてその旨周知しております。
- なお、2025年度末までに■■■種の緊急通報端末について検証が実施され、そのうち■■■種の緊急通報端末がワイヤレス固定電話で利用可能、■■■種の緊急通報端末は一部形態で利用可能であると報告を受け、確認しております。
- 加えて、ワイヤレス固定電話に未対応もしくは未検証の緊急通報サービスをご利用の方に対して、ワイヤレス固定電話を提供することのないよう、申込受付時に電話機以外の設置端末の有無を確認し、仮にワイヤレス固定電話に未対応もしくは未検証の緊急通報装置の利用を把握した場合は、光回線電話や加入電話での提供を行っています。2025年度にワイヤレス固定電話のお申込みを頂いた■■■件の中で、ご利用端末をヒアリングした結果、未対応の緊急通報装置を利用していることから光回線電話や加入電話での提供を行った案件は■■■件でした。

他者設備を用いた電話の役務の提供に係る効率化に関する取組状況

② 他者設備を用いた電話の役務の提供に係る効率化に関する取組状況

ア 収益の状況

2025年度	
--------	--

イ コスト効率化見込の計画に対する達成状況

	2025年度 実績	2025年度 計画	累計実績	累計計画
需要(万回線)				
A.メタルケーブルを新設した場合に要する費用(億円)※				
B.ワイヤレス固定電話の提供に要する費用(億円)				
B-A(億円)				

対計画 差分	対計画 累計差分

※メタルケーブルを新設したと仮定して算出。実際は、メタルケーブルの張り替等は実施していない。

ウ コスト効率化の将来見込み

	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	累計
需要(万回線)						
A.光ケーブルを新設した場合に要する費用(億円)						
B.ワイヤレス固定電話の提供に要する費用(億円)						
B-A(億円)						

※2025年度までに提供した回線は除く